

【質問1】

今年度の業績予想をどのようにお考えですか。

【回答1】

2022年度の経常利益については106億円で予想しています。多少の増減はあると思いますが、足下では若干アゲインストではと認識しております。

ウクライナ情勢や上海でのロックダウン等の影響により、自動車の生産台数も当初の計画では、上期減産、下期挽回、年間トータルではマイナスではあっても、ある程度はリカバリーするという前提でしたが、その時期が、遅れてくるのではと予想しています。また、鉄鋼について、コスト上昇の為の値上げもメーカーサイドにて強力に進められておりますが、そのトーンが少し変わってきていることが見受けられ、余裕はなくなりつつあるのではと考えています。為替レートについては、1ドル110円で予算を組んでおり、当社の場合、円安はプラスに働きますが、現段階では上方修正していくことは考えておりません。

【質問2】

自動車用アルミ板材のリサイクル事業について、現在の進捗状況を教えてください。

【回答2】

リサイクル事業については、昨年度始動しました。本事業は水平リサイクルを目指し様々なアルミ部材を品種別に選別していけるかがキーとなります。選別機を据え稼働開始しておりますが、本格稼働に向け選別ノウハウを蓄積中です。

【質問3】

2021年度の配当が245円、22年度予想も240円、これは過去と比較してどのような水準にあるか。また、株主還元について、配当以外の手段で何か考えていますか。

【回答3】

245円は絶対値で過去最高となります。配当性向では2019年度が結果的に48.9%でしたが、配当性向の目標を明確に打ち出したのは、この中期の30%からです。

配当金以外の株主還元、例えば自己株式の買取り等、様々なものを検討してはいますが、当社は自己資本比率が20%前後です。このような状況の中での自己株式買取りというのは、利回りの面では有利だとは思いますが、現段階でそこに回すのは好ましくないと考えます。当面の間は配当金をきっちりとお支払いしていく事を主に考えています。